

## ふたり へいし なんぜんにん へいし う やぶ 二人の兵士が何千人もの兵士を打ち破る

### きじょう しょう さいわ サムエル記上14章の再話

サウル王は苦境に立たされていた。ペリシテ人が大軍でイスラエルを攻めてきたからだ。自分たちの軍がはるかに小さいのを見たイスラエル人たちは、おそろしさのあまり逃げまどい、ほら穴や茂みの中や岩場のくぼみや穴蔵などにかくれた。中には、ヨルダン川を渡って反対側にまで逃げて行った者もいた。

結局、サウルと共に陣に残っていたのは600人だけになってしまった。息子のヨナタンは、ミクマシの町近くにいた。イスラエルが弱ってきたこの時こそ、ペリシテ人が待ち受けていたものだった。ペリシテ人は三方向からイスラエルを攻撃しようと、三つの奇襲部隊を送り出した。そして、その一部隊がミクマシの険しい岩場のとうげに接近してきた。

さて、サウル王の残りわずかな部隊の中に、有利な立場にいる強豪な敵にも全く動じない兵士が一人いた。サウル王自身の息子、ヨナタンだ。

ヨナタンは、自分のよろい持ちの若者に「さあ、われわれは向こう側の、ペリシテ人の先陣へ渡って行こう。」と言った。しかし、その計画について父に話してはいなかった。事実、ヨナタンが陣を出て行ったことに気付いた者さえいなかった。

とうげの向こう側の険しいがけに近づくと、ヨナタンは勇かんにも彼のよろい持ちに言った。「さあ、われわれは、この異教徒たちの先陣へ渡って行こう。神がわれわれのために何かしてくださるであろう。多くの人をもって救うのも、少ない人をもって救うのも、主にとっては、何の問題もないからだ。」

それを聞いたよろい持ちの若者は、ヨナタンの信仰の表明に感動して言った。「わたしはあなたと一心同体です！」

注意深く、二人の兵士は敵陣に向かって、岩壁を登り始めた。敵陣に近くなると、ヨナタンが言った。「さあ、開けた所へ出て、ペリシテ人にわれわれの姿を現そう。もし彼らが『おまえたちの所へ行くから待ってろよ。』と言うなら、登って行くのはやめよう。だが、もし『登って来い。』と言うなら、登って行こう。それは、主が彼らをわれわれの手に渡してくださるしるしだ！」



のぼ  
こ  
登って来い！  
おも  
し  
思い知らせてやる！

おーい！ ペリシテ人の  
よわむし  
弱虫やーい！

この人はすごい。  
ぜったい  
絶対にうまくいくぞ！

が「ふるえおののいて右往左往する」のをサウル軍の見張りたちが見たので、みんなは勇気を奮い起こし、再び結集した。

ヨナタンと彼のよろい持ちが出て行ったことがわかったサウルは、軍を戦いに送り出したが、そこではすでにペリシテ人が完全に混乱して、自分たちの剣で同志打ちをしていた。すると、敵をおそれて陣を見捨て、山地に逃げかくれていたイスラエル人の兵士でさえ、戦うために出てきた。彼らが攻撃してくるのを見たペリシテ人は逃げ出し始めたが、イスラエル人は彼らをはげしく追跡した。真に大なる勝利が勝ち取られた！

その日、主は若いヨナタンと彼のよろい持ちの勇かな信仰をとおして、イスラエルを救ってくださった。

ヨナタンと彼のよろい持ちは、ペリシテ人からすぐに見つかる開けた場所に出た。ペリシテ人の見張りたちが二人を見つけると、大笑いしながら彼らをバカにして言った。「見ろよ、ヘブル人が、かくれていた穴から出て来るぞ！」

ペリシテ人は二人に向かってさげんだ。「登って来い。思い知らせてやる。」

それは、ヨナタンが望んだ神からのしるしだった。ヨナタンは確信をこめてよろい持ちに言った。「わたしの後に続いて登って来なさい。主が彼らをイスラエルの手に渡されたのだ！」

二人の勇かな兵士たちは信仰に満たされて、切り立った岩壁を登り切った。頂上に着くと、若い戦士たちは持っていた剣をぬき、20人のペリシテ人をやっつけた。

そして、ペリシテ軍にパニックが広がった。陣営にいる者にも、野外に出ている者にも、先陣の者にも、奇襲部隊の者にもだ。すると突然、地面がガタガタと、大きくゆれ始めた！ 敵の軍

これで  
うまくいくだろう。





だから、神様が君に下さる力を、小さく考えてはいけないよ。君がどんなに小さくても、もし神様が君といっしょなら、君は  
 怖いものなしなんだ。一人の人と神様がいれば、それは多数なんだよ。

「そして、わたしたちの信仰こそ、世に勝たしめた勝利の力である。」(ヨハネの第一の手紙 5:4、口語訳聖書)

考えてみよう:ヨナタンは、今から自分がしようとしていることが神様の御心であるかどうかを確かめるために、神様にしるし  
 を求めた。わたしたちには何かをする勇気がないことがあるけど、それは、それが自分にとって神様の御心ではないからな  
 んだ。だけど、一番大切なのは、わたしたちにとって何が神様の御心かをたずねることだよ。神様は、一見怖いことをする  
 ようにと、君に求めているかな? もしそれをするのが君にとって神様の御心なら、神様はそれをするための勇気(信仰)も  
 下さるよ。

寄稿: R.A.ワッターソン 絵: MJ

Copyright © 2010 年、ファミリーインターナショナル

"Two Soldiers Conquer Thousands"—Japanese

<http://www.mywonderstudio.com/level-2/tag/japanese>